

SANS FRONTIÈRES

vol.45

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryo.ac.jp/>

2学期スタート

医歯薬講座 茨城県立医療大出張講義



7月16日、第1回医歯薬講座として、茨城県立医療大学出張講義が行われました。

作業療法学科 大島隆一郎先生

「障害を持つ子どもに対する作業療法」

看護学科 本村美和先生

「感染対策について」

人間科学センター 海山宏之先生

「きれいはいきたない きたないはきれい」

新型コロナウイルス感染症の影響は、様々なところに現れています。講演会の実施も困難な中、県立医療大の先生において頂くことができました。

医療系学部や学科ではどんなことを学ぶのか、イメージはあっても、なかなか知る機会はありません。「出張講義」では、実際に大学で教えておられる先生方の講義を受けることができます。医療職の仕事の内容など具体的に知ったり、生命や倫理について考えるきっかけにもなったようです。

医歯薬コースの担任の先生方に、皆さんへのアドバイスを伺いました。

【3-1 黒澤先生】

3年生のみなさんへ。夏の三者面談で、志望校を決定し、今は合格のために日々勉強に励んでいると思います。実際、志望校の模試判定がE判定で、自分は受かるのか？このままで大丈夫なのか？と不安な人もたくさんいると思いますが、目標を達成するために、何を、いつまでに、どのように取り組んでいくのかを明確にし、計画（1カ月・1週間ごとに）を立てていくようしましょう。不安を持たない受験生はいません、いかにその不安を少なくして受験に臨むかが重要です。

1、2年生のみなさんへ。将来の目標は決めましたか？志望校は決めましたか？目標を持ち、それを実現させたいと強く思うことで、勉強に対する取り組みや行動は少しずつ変わっていきます。その目標は、今後変更しても大丈夫なので、今の自分の目標を明確にしましょう。もし、その目標が決まったのであれば、ノートの表紙、スマホのロック画面、勉強机など必ず毎日見るところに書きましょう。そうすれば、自然とその目標に向かって頑張れます。一番ダメなのは、ただ頭で思っていることです。

【3-2 遠城先生】

勉強していますか？学校の授業はもちろん、家庭学習にも励んでいますか？う～ん、家では集中できないなあ、という人！実は自宅で勉強に集中できない原因は、以下のようなものが挙げられるそうです。1. 孤独に弱い 2. 誘惑が多すぎる 3. 緊張感がない 4. 家族の生活音がうるさい 5. 家=勉強する場所と認識できていない。。。これらに共感する人もそうでない人も、どんどん医歯薬コースのホールを朝の時間や放課後の時間など、ちょっとした時間でも積極的に使ってみてください。3年生はもちろんですが、最近は1、2年生の生徒が学習している様子がよく見られるようになりました。嬉しいですね。受験関連の本や様々な分野の書籍など、知りたい情報も見つけられるスペースになっています。また、掲示物にも注目してみてくださいね。皆さんの好奇心を掻き立てるようなものがあると思いますので、ぜひ。そして、受験生！最後の最後まであきらめずに、粘り強く頑張ってください。最後の1秒まで成長できます。健康管理に気を付けて、大きな目標に向かっていってください。

【2-1 飛田先生】

猛暑および新型コロナウイルス感染拡大の折、頭や体のだるさ、焦燥感や怒りなど、言葉で表し切れない不安を持った人も多いと思います。特に、将来を強く意識している人は尚更でしょう。このような時だからこそ、周囲だけでなく、自己の利益になる行動をしましょう。生活様式を身に付けるだけでなく、感謝の言葉を意識して言い表したり、何気ない声掛けをすることが大切です。周囲を安心させることで、よい環境が形作られ、自分にも良い影響があります。不安な時だからこそ、周囲を安心させられる人になれるといいですね。

【2-2 佐藤先生】

最近、SNS上で話題になっているポカリスエットの飲み方について紹介します。熱中症予防のために体内に吸収されやすい成分で作られているスポーツドリンク。皆さんは「スポーツドリンクは薄めて飲んだほうがよい」と聞いたことはありませんか？

以下は大塚製薬のHPのよくあるQ&Aからの一部引用です。

Q ポカリスエットは薄めて飲んでも熱中症対策になりますか？

A ポカリスエットを薄めてお飲みになることはおすすめしておりません。ポカリスエットは、「水分とイオン（電解質）のスムーズな吸収」を探求し、現在の内容成分に決定していますので、水で薄めてしまうと「水分とイオン（電解質）のスムーズな吸収」が損なわれてしまう可能性があります。文部科学省の依頼（熱中症事故等の防止について）などに、熱中症を予防するための飲料として、「塩分濃度0.1～0.2%」の飲料が望ましいとされています。また、公益財団法人 日本体育協会の「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」には、1時間に2リットルなどの多量な発汗を伴う運動中には、「0.1～0.2%の食塩と4～8%の糖分」を含んだ飲料をすすめています。

ポカリスエットは、糖分・塩分ともに、この濃度の飲料です。薄めずにご利用ください。

以上の通り、大塚製薬は薄めずにそのまま飲んでくださいと回答しています。正確な知識で正しい熱中症対策を行いこの夏を乗り切りましょう！

【1-1 湯田先生】 ★今こそ基礎・基本の反復学習を大切にしよう★

夏休み前後で、複数のメディアから夏休み期間縮小に伴う学校からの宿題量の減であるとか、学校での夏季課外や塾、予備校などの夏季講習の中止等が報道されました。Kiryo生も例外ではありませんでしたね。その中で取り上げられたのが、夏休み期間中による自主学習、演習量不足が受験にどのように影響するのかを心配する声です。その大学を受ける受験生にとって①基礎問題、②標準問題、③応用、発展問題がそれぞれどのくらいの割合で出題されるかは各大学の傾向もあるため明言できませんが、多くの受験生が難問に苦しみ、そこで差がつかないのであれば、確実に基礎、標準問題を得点した者に合格が出るのは明らかではないでしょうか？3年生は6限での放課の日が設けられましたね。各自が課される学科試

験の科目を11月になるまで知識をどんどん詰め込みましょう。1、2年生はWTでその週、その週の積み残しを確認しながら、ぽっかり空いた知識の穴を埋めていきましょう。今の努力は試験本番で目の前の問題を速攻解決するために必要な演習であることとして意味があるものです。感情の浮き沈みに多少影響されても、手を抜くことなく毎日の基礎学習に勤しんでください。

【1-2 疋田先生】

我々を含むほとんどの生物が、遺伝情報である塩基配列を二重らせん構造により守られたDNAを遺伝物質として利用している。しかし、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスは、1本鎖RNAを遺伝物質として利用し、遺伝情報である塩基配列がむき出しの状態であり、塩基配列が破損することで突然変異を起こし易い。それ故、1本鎖RNAウイルスは人の免疫システムを次々と潜り抜けることができる能力を有する。人とウイルスとの闘いを「血を吐きながら続けるマラソン」と表現した研究者もいる。

コロナ禍の中、現在世界で起こっている出来事を分析し、そしてそこから学んで欲しい。今、未来を背負う若者達は、今回の「禍」を機会に、来るべき新たな「感染症による禍」に対応すべく、新たな社会制度や予防・治療医療等を構築していかなければならないからである。そして多くのことを学ぶためには、自分の専門分野だけでなく、文・理を超えた幅広い知識が必要なのである。

医学部医学科志望生徒対象オンライン講演会

本校では毎年、医学部医学科志望者を対象とした講演会を開催していますが、COVID-19感染拡大の影響で、今年はオンラインでの開催となりました。

8月8日(土)、医系専門予備校のメディカルラボの可児先生と、本校医学科合格専門チームから萩原先生から、医学部医学科受験についての講演をして頂きました。

国公立大・私立大、それぞれの受験情報や、地域枠についてのお話がありました。

大学受験においては、受験科目や形式、推薦入試の条件などが大学ごとに異なります。自分に合った方式の大学を探すのは、とても大切なことです。

それは医学部医学科だけでなく、他学部についても同様です。

大学のHPなどを見てみましょう。